

科目番号	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61059	道徳の理論及び指導法 (A) (B)	2 単位 前期	2 年 (H29 年以前入 学生) 3 年 (H30 年入学生)	講義	芳澤 拓也
61058	道徳の指導法 (A) (B)				
61034	道徳教育の研究 (A) (B) (A) クラス (火曜・2限) (B) クラス (水曜・2限)				

■テーマ 道徳の理論と実践を学ぶ

※授業は、この授業は旧「教育職員免許法施行規則」に定める「教職に関する科目」、新「教育職員免許法施行規則」における「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」であり、教職必修科目です。

■授業概要 【題目】「道徳」をめぐる教育実践

学校現場では、「特別の教科 道徳」を指導することになります。この授業では、現在の道徳教育が戦前の反省に立脚していることを確認した上で、①学習指導要領における規定、「特別の教科 道徳」の特質を理解し、②学校現場において展開されている道徳授業事例の批判的検討を行い、③「考えること」と「話し合うこと」を重視した授業、アクティブ・ラーニングの視点を念頭にいた道徳授業等を検討し、④こうした授業づくりに必要な、道徳をめぐる論理の検討を経て、道徳授業を実践・評価できる力を身につけていきたいと考えています。

■到達目標

- ①道徳教育に関する多様な見方・考え方を知り、自分なりに考えることができる。
- ②中学校学習指導要領における道徳教育の規定を理解することができる。
- ③道徳の授業構想・計画、教材研究、授業実践・評価を行うことができる。

■授業計画・方法

	授業内容	準備学習
1	「道徳（教育）」とは何かー戦前の反省の視点からー	特になし
2	道徳性の発達理論 (1)ーモラルジレンマ授業の基本的原理ー	授業後、授業内容のふりかえりを行って下さい。この授業では、模擬授業の実践へ向けてグループ活動を予定しています。グループリーダーを中心に、生産的な意見交換、批判、援助と支援を可能にする関係作りを意識して欲しいと考えています。また、授業内外で話し合いが要求されます。議論を深めるためにも、広く社会へ向けてセンサーを広げて欲しいと考えています。
3	道徳性の発達理論 (2)ーモラルジレンマ授業の実際	
4	「考えること」と「話し合うこと」を重視した道徳授業 (1)ー基本的な考え方、実践事例検討キャリア形成・「家族」ー	
5	「考えること」と「話し合うこと」を重視した道徳授業 (2)ー授業実践事例をもとに考える、テキスト・リーディング「家族」ー	
6	教育実践検討 (1)ーセクシュアルマイノリティと学校ー	
7	教育実践検討 (2)ーアクティブ・ラーニング：ゴーイング・ドゥーティーー	
8	教育実践検討 (3)ーワークをとり入れた授業：ソーシャル・スキル・トレーニングー	
9	学習指導要領と学習指導案ー道徳教育と道徳科の目標・内容・評価ー	
10	道徳資料の検討と指導案作成の基本	
11	道徳資料の検討と授業展開の工夫ー多面的・多角的な学びー	
12	授業の計画ー学習指導案の構成・作成ー	
13	授業の計画ーカリキュラム・マネジメントー	
14	模擬授業ー授業の展開ー	
15	模擬授業・まとめー教材の意味ー	

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

教育原理を履修済みであること。

この授業では、グループ活動や発表等、みなさんの自主的な参加を求めるワークを行う予定です。

■成績評価の方法

□方法 平常点 (10 点)、グループワーク、提出物、レポート (90%)。平常点は授業への参加意欲、「ふりかえりシート」の内容等で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献

『中学校学習指導要領』（最新版）、『中学校学習指導要領 解説ー道徳編ー』（最新版）
他の参考文献は、授業の中で適宜紹介します。